

一貫したる同一方針を以て、又我々の活動は、
 諸君は、その個々の努力を以て、我々の活動に
 あり、である。然し、然し、然し、然し、然し、
 であり、然し、然し、然し、然し、然し、
 らる、である。然し、然し、然し、然し、然し、
 されば、我々は、今何をなすべし、と問はる、
 百文真に現実に立脚し、組合自身を強うする、
 る根強い運動に移らねばならぬ、後には、
 無刀なる陣形に約法する、と云ふ、何に思ふ、
 組合運動の断じて取るべからざるもの、
 に見取せらる、と云ふ、
 我等は、只實力に相應したる組合の指導精神に立脚して、
 の、多事多難なる前途に處して、
 報告を終る。

本同盟會拾四年度の
 活動及其成績

事業報告

(五組合除名)

本同盟會の史に記述せる如く、前年度大會(二十三年五月五日)に於
 て不詳なる退席問題起り、大會は一時中止して、
 齊藤(岩井)を上げて之が復帰を勧告せしが、退場者の多くは、
 併作同心題の單に大會席上に於て起りし突發的の同心題で
 行ふ、既然大會の催前に於て、其の爆發性は著在して、
 即ち、東鏡の組合四月の大會に於ける、主事問題之である、
 故に同盟大會後の理事会は、其の第一、第三、第四の理事會に於て